

## ◎不登校対策の方向性について

### 1 横須賀市の不登校に係る状況

- ・全体の児童生徒が減る中、不登校児童生徒が増え続けている
  - ※不登校児童生徒数：平成26年度 622人（30,594人中）  
（市立小中学校） 令和5年度 1,278人（24,751人中）
- ・不登校児童生徒の出現率が、全国や県に比べて高い

### 2 不登校に係る取り組みの課題

- ・困難さを抱える児童生徒に、担任だけが対応しているなど、管理職を中心とした組織的な体制を生かした支援が一人一人に届いていない。
- ・学校外の関係機関等との連携が不十分なため、児童生徒一人一人の特性に応じた適切な支援につながっていない。
- ・個々の状況について把握し、適切な支援につなげていくための情報共有資料が各学校独自のものとなっており、校種間や関係機関との連携に生かされていない。

### 3 取り組みの視点

令和6年度教育フォーラム（中高生、大学生、不登校経験者、不登校児童生徒の保護者らが参加）や、スクールカウンセラー・登校支援相談員等の研修において、これからの学校像を話し合う中で、キーワードとして「安心」「居場所」「人との関わり」が挙げられた。

そこで

**～だれ一人取り残さない 一人一人のよりどころとなる学校を 目指して～**

をスローガンに、

- ①「安心づくり」
- ②「居場所づくり」
- ③「人との関わりづくり」

を視点として、取り組んでいく。

それぞれの視点を踏まえ、支援体制の現状（別紙参照）から、課題となる部分を見直して体制の再構築を図り、管理職を中心としたあるべき学校の姿を示し、不登校児童生徒への支援に係る具体的な施策を進めていく。